

令和 7 年度

八戸理容美容専門学校

自己点検・評価報告書

八戸理容美容専門学校

2026/03/31

◆評価項目の達成および取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3. やや不適切・・・2、不適切・・・1
専門分野の特性が明確になっているか	④ 3 2 1
学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1
学校の理念・方針・学生像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④ 3 2 1

① 現状

- ・本校は、社会に貢献できる理美容師の育成を理念とし、人格・技術・人間性の形成を重視している。
- ・本校は、専門知識、技術に加え接客を重視し、サロン実習を通して実践的に育成している。
- ・社会や業界の変化に対応し、人材育成の充実を図っている。
- ・本校の理念は、周知と日常の指導で浸透させている。

② 今後改善方策

- ・表現、内容を整理し、特色を継続的に発信する。
- ・本校の特色であるサロン実習をさらに充実させる。
- ・引き続き周知を行いながら、内容や表現を工夫して分かりやすさの向上に努めるとともに、社会の変化に対応した効果的な周知方法について検討していく。

(2) 学校運営

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 ③ 2 1

① 現状

- ・本校の教育理念および教育目標に沿ったものであり、学校の目的に基づく運営方針として明確に定められている。
- ・学校は方針に基づいて運営されており、情報公開についても適切に行われていると考えられる。
- ・本校では、サクラ連絡網を活用した連絡体制の整備及び表計算ソフトによる各種情報の管理・集計等を通じて、事務処理及び情報共有の効率化に努めている。

② 今後改善方策

- ・教職員間における情報共有を継続して行う。
- ・情報システム化については、校内ネットワーク上の共有フォルダのデータ整理及び表計算ソフトの活用による業務効率化を、引き続き推進する。

(3) 教育活動・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3. やや不適切・・・2、不適切・・・1
教育方針に沿った教育課程の編成・実施計画等が策定されているか	4 ③ 2 1
教育方針、学生像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
授業評価の実施・評価体制はあるか	4 ③ 2 1
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 ③ 2 1

① 現状

- ・理美容における専門的な知識や、技術の習得を目的として、カリキュラムを編成している。
- ・今年度はヘッドスパを導入し、即戦力となる技術の習得に努めている。

② 今後改善方策

- ・現場の多岐にわたるニーズに対応できる人材の育成及び国家資格に関わる技術の習得の双方を踏まえ、カリキュラムの見直しを継続的に実施する。

(4) 学修成果

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
退学率の低減が図られているか	④ 3 2 1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④ 3 2 1

① 現状

- ・学生のニーズを的確に把握し、それに応じた求人票の見方について指導を行う。
- ・退学者を出さないよう、職員全体で支援体制を整え、継続的に対応していく。
- ・国家試験合格率の向上を目的として、家庭学習ノートの作成・活用および模擬試験の回数や実施時期の見直しを行った。
- ・マツエクサロンへの就職希望者が増加している一方で、市内のサロン数が限られているため、希望どおりの就職が難しい場合があった。

② 今後改善方策

- ・これまで以上に、教職員間での情報共有に努める。
- ・国家試験取得に向け、学校行事や日々の授業を通じて全職員で情報を共有し、組織的に対応していく。
- ・今後、就職先の多様化が一層求められる。

(5) 学生支援

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1
保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1
国家試験不合格者に対する支援体制はあるか	④ 3 2 1

① 現状

- ・保護者との連絡を密に行い、学生の動向に細心の注意を払って対応している。
- ・健康診断を定期的実施し、学生の健康管理に努めている。
- ・学担との個人面談及び保護者面談を実施し、学生の状況把握や適切な連携に努めている。

② 今後改善方策

- ・社会人のニーズを考慮し、校内での情報共有などを通して適切な指導行う。

(6) 教育環境

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 ③ 2 1
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 ③ 2 1
防災に対する体制は整備されているか	4 ③ 2 1

① 現状

- ・ヘッドスパ設備を増設し新しいものに入れ替えた。

② 今後改善方策

- ・学生の要望に即した適切な数の設備を検討する。
- ・防災時の具体的な行動について、職員間で十分に周知が図られていない。

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
学納金は妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1

① 現状

- ・春および秋の年2回、高校訪問を実施している。
- ・企業ガイダンスへの参加を実施している。
- ・近隣の高校と連携し、専門学校への周知を目的としたイベントを企画・実施する。

② 今後改善方策

- ・広報担当者の負担軽減を図るとともに、校外ガイダンスを全教職員体制で実施し、共通意識の醸成に努める。

(8) 財務

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1
財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1
財務情報公開の体制整備はできているか	4 ③ 2 1

① 現状

- ・予算および収支計画は、年度ごとに策定している。
- ・会計監査は、年3回実施している。
- ・大型修繕等については、長期計画に基づき積立金を確保し、実施に備えている。(県に計画書提出済み)

② 今後改善方策

- ・財務情報の通常公開は行っていないものの、希望があれば随時提示できる体制を整備している。
- ・情報の公開が必要かどうかを検討する。

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	④ 3 2 1
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	④ 3 2 1
自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

① 現状

- ・個人情報を取り扱う際には、その目的および必要性を明確に説明し、保護者に対して同意の可否を常に確認している。
- ・SNS および Instagram への投稿に際しては、名札等の個人を特定できる情報を掲載しないよう徹底している。

② 今後改善方策

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④ 3 2 1
学生のボランティア活動を推奨、支援しているか	④ 3 2 1
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	④ 3 2 1

① 現状

- ・サロン実習を通じて、地域の方々に学校の授業成果を体験していただいている。
- ・イベントへの参加依頼に対して、積極的に応じるよう努めている。
- ・校内および校外周辺の美化並びに除雪に努め、快適な環境維持に取り組んでいる。

② 今後改善方策

